



<<入院診療計画書・退院療養計画書>>

脊柱管狭窄症の手術を受ける患者さまへ

固定

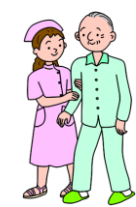
患者氏名 ○

様 病名： 脊柱管狭窄症

症状： 足のしびれ、痛みなど 担当医 ○

印

受け持ち看護師

項目	1月0日	1月1日		1月2日	1月3日	1月4日 ~ 1月14日	1月15日 ~
	手術前日	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3~13日目	手術後14日目~退院日
達成目標	手術の準備ができる		術後の安静が守れる	痛み止めを使用して、痛みのコントロールができる		車椅子にのることができる リハビリに取り組み始める	退院後の注意点が理解できる
治療・薬剤 (内服)	中止されたお薬以外のお薬は夜まで飲んで下さい コルセットの採寸を外来で行っている場合には月曜日または木曜日にお渡しします	朝のお薬は、 () を飲んでください	手術後心電図や呼吸状態を測定する器械をつけます 酸素のマスクは翌日の朝までつけます 手術部位に血液が溜まらないようにドレーン（排液用のチューブ）が入ってきます	中止された以外のお薬はすべて再開して下さい 痛み止めの飲み薬が始まります		中止しているお薬の再開については看護師に確認してください	手術後14日目の採血の結果で退院日を決めます
		手術前に点滴をします。 朝一番（9時）の手術の患者様は手術室で行います 	手術翌日、3日目、7日目に血液検査があります	月曜日と木曜日に医師による回診があります 手術部位に異常がなければ、回診がない場合もあります 手術後7日目にレントゲン検査があります		3ヶ月間は重い荷物を持ちたり、激しい運動をしたりなどの腰に負担のかかる動作・姿勢は控えてください コルセットをお持ちの方は起きているときには、コルセットを着用して下さい	
活動・安静度	活動の制限はありません 理学療法士によるリハビリテーションが始まります	活動の制限はありません	ベッド上安静です 寝返りは看護師がお手伝いします	初回の離床は看護師が付き添い行います。それまではベッド上安静です 身体を拭き、着替え等お手伝いします	リハビリテーションの状態に合わせ装具をつけて歩行を進めていきます	ドレーンが抜けた翌日よりシャワーに入れます	
					装具をつけて歩行してください		
食事	21時以降は食べられません お水・お茶・ポカリスエットは飲みます 特別な栄養管理の必要性有・無	食事はできません お水は（ ）時まで飲みます	食事は出来ません	お腹の動きが確認できたら食事ができます	手術前と同様の食事ができます →		
排泄	制限はありません →		尿を出す管が入ります	回復の状態に合わせて、尿の管を抜きます →		制限はありません	
患者様およびご家族への説明	入院・手術について説明します。「腰の手術を受けた患者さんへ」のパンフレットをお渡しします シャワーをして身体をきれいにしてください 爪の長い方は切り、マニキュア・ジェルネイル・スカルプネイルも落としてください。 患者様識別のためにIDバンドを装着します	洗面・歯磨きはできます 指輪・時計・めがね・義歯など金属類を外せるものは外してください	看護師が付き添って、うがいができます 術後は看護師が適宜伺います 足にマッサージの機械をつけます 痛みや吐き気等、何かありましたら遠慮なく、申し出て下さい	食事が半分以上とれて、発熱がなければ抗生剤の点滴のみになります 離床ができたらマッサージの器械を外します ストッキングは歩行が安定するまで履いて下さい	リハビリテーションの状態に合わせお一人での歩行が判断します 状態に合わせて歩行器や杖などの利用もリハビリ療法士と検討していきます 		退院は、午前10時頃です IDバンドは退院時に看護師がはずします
		静脈血栓症予防のために弾性ストッキングを履きます					退院後のご相談・お問い合わせは、外来看護師が承ります
							

注1 場合によっては内容を変更することがあります。

180027

2021.02.05

上記内容について説明を受け、内容を理解し(同意します・同意しません)

年 月 日

(代理人の場合) 代理人名

(続柄)